英文學評論

第 V 輯

故郷の喪失……深瀬基寛

「他者」の思想……中野正順

アーヴィング・バビットと大学教育……角倉康夫

イェイツと老齢の問題……大浦幸男

『偉大なる神ブラウン』とオニール的なるもの……山内邦臣

『ドイッチュラント号の難破』を通して見た
　ホプキンズの詩的本質……山村武雄

京都大学教養部英語教室

目次

故郷の喪失——第三の神話……深瀬基寛……（一）
「他者」の思想……中野正順……（六）
——ハックスレイの近作を中心として——
アーヴィング・バビットと大学教育……角倉康夫……（三一）
イェイツと老齢の問題……大浦幸男……（四八）
『偉大なる神ブラウン』とオニール的なるもの……山内邦臣……（七三）
——民芸『楡の樹蔭の欲情』上演に寄せて——
『ドイッチュラント号の難破』を通して見たホプキンズの詩的本質……山村武雄……（九六）

編輯後記

▲このところ引続いて停年御退官の先生をお送りしてきたが、今秋は深瀬先生をお送りすることになる。惜しまれてならない。本輯には先生の御風格躍如たるエッセイを頂いて、巻頭を飾ることができたのは何よりの喜びである。昨年一月に停年御退官になった山本修二先生は、名誉教授の称号を受けられ、現在は立命館大学文学部教授としてなお御研究にいそしんでいられる。そのうち時に応じて先生の玉稿が頂けるものと、一同喜び楽しみにしている。

▲中野、山村、大浦、山内、角倉諸氏からもそれぞれ御研鑽の主題について力作を寄せられ、感謝に堪えない。山内助教授は昨年初頭の御大患から、文字通り九死に一生を得られ、御寄稿を願えるまでに回復せられた。何にも替えがたい大きな喜びである。

▲前輯で予告されていたバジル・ウィレーの『十七世紀の背景』は、題名を『十七世紀の思想的風土』として四月上旬には上梓される運びになっている。

▲本年度は当教室に新進気鋭の二人の先生を迎えることができた。四月一日には佐々部英男助教授、八月一日には寺田建比古助教授の発令を見た。

（編輯委員）

英文学評論　第五輯

非売品

昭和三十三年三月二十五日　印刷
昭和三十三年三月三十日　発行

編輯者　京都大学教養部英語教室
代表者　宮西光雄

印刷所　内外印刷株式会社
京都市下京区西洞院七条下ル

発行所　京都大学教養部英語教室
京都市左京区吉田二本松町

REVIEW OF ENGLISH LITERATURE

VOL. V. March 1958

CONTENTS

Dissociation of Sensibility.....*Motohiro Fukase*

Aldous Huxley's Ideas of 'Not-Self'

— As seen in his Recent Works —.....*Masanori Nakano*

Irving Babbitt on College Education..... *Yasuo Kadokura*

The Poetry of W. B. Yeats:

A Study of Old Age .....*Yukio Oura*

The Great God Brown and O'Neillism.....*Kuniomi Yamanouchi*

The Qualities of Gerard Manley Hopkins' Poetry

found in *The Wreck of the Deutschland*.....*Takeo Yamamura*

ENGLISH DEPARTMENT
COLLEGE OF LIBERAL ARTS
KYOTO UNIVERSITY